



知っ得情報!!

Information

・「特集」では紹介できなかった、教育センターからのお知らせを掲載しています。

・「ミネルバ」はホームページでもご覧いただけます。

<http://www.saga-ed.jp/>



教育論文・ICT活用実践研究を募集します。

個人やグループで取り組んだ教育実践を応募してみませんか？

教育センターでは、今年度も教育論文・ICT活用実践研究を募集しています。教育活動の活性化を図るため、個人やグループ、校内研究で取り組んだ貴重な実践を応募してください。多数の応募をお待ちしています。

1 募集内容

「教育論文」

校内研究の部…………… 学校全体で取り組んできた教育実践

個人(グループ)研究の部…………… 個人やグループで取り組んできた教育実践

「ICT活用実践研究」

児童生徒への日々の指導において、ICTを効果的に活用したもの

校務や各種事務処理において、ICTを活用し、業務の機能や利便性・効率を向上させたもの

2 応募期間及び提出先

市町立の幼稚園、小・中学校…………… 10月31日(月)～11月9日(水)各市町教育委員会へ

県立学校…………… 11月14日(月)～11月22日(火)教育センターへ

3 その他

必ず応募票を付けて応募してください。教育センターのホームページから「募集要項・応募票」「研究計画の立て方・研究の進め方」「過去の入賞作品」がダウンロードできます。

詳しい情報はホームページをご覧ください。または、電話やメールでお問い合わせください。

図書資料室をご活用ください。

研修・研究に役立つ図書を豊富に揃えています。

図書資料室では、全国の教育機関から集まった研究紀要、教育関係の月刊誌や図書など、先生方の研修・研究に役立つ図書を豊富にそろえています。佐賀県内の教育関係職員であれば誰でも利用することができ、打合せや作業の場として利用することもできます。また、昼休みの時間帯(12:00～13:00)は、図書資料室内を食事会場として開放しています。センター講座を利用される際には、是非お立ち寄りください。

貸し出しについて ……………

貸出冊数…………… 一人5冊までです。

貸出期間…………… 原則として2週間以内です。

返却方法…………… 本人または代理の方が返却してください。

※郵便小包か宅配便での返却も可能です。

その他…………… 研究紀要、教科書等は貸し出しできません。

蔵書検索について……

ホームページの「蔵書検索」から、図書資料室内の蔵書を検索することができます。蔵書番号と来所予定日をお知らせいただくと、取り置きすることもできます。

詳しい情報はホームページをご覧ください。または、電話やメールでお問い合わせください。



佐賀県教育センター <http://www.saga-ed.jp/>
〒840-0214 佐賀県佐賀市大和町大字川上
TEL 0952-62-5211(代) FAX 0952-62-6404

おもな記事

- 副所長あいさつ
- 特集
学力向上への取組をサポートします
- 教育センター 知っ得情報

教育の情報化推進について

副所長 江頭 一寛



昭和20年代後半、新時代の生活必需品として、「三種の神器」と呼ばれた電化製品があります。白黒テレビ、洗濯機、冷蔵庫です。昭和30年代後半には、カラーテレビ、クーラー、自動車が「新三種の神器」といわれました。今の時代の必需品といえば、携帯電話ではないでしょうか。通話機能だけでなく、インターネットを通じた様々な機能が備わっています。教育の現場でも、テレビ、ビデオ、OHP等、学習効果を図る機器が導入されてきましたが、パソコンは次第に、その周辺機器を含めて、教育界にいろいろな可能性を生み出すこととなってきました。

平成23年度、「佐賀県教育の基本方針」の二つめの柱に、「社会の進展に対応した教育の推進」が掲げられ、その取り組みの一つにICT利活用教育の推進が盛り込まれました。文部科学省からも、「教育の情報化ビジョン」が、この4月に公表されました。これからの時代を生きぬいていく児童生徒たちを目の前にして、情報通信技術の利活用を避けては教育を語れない時がきていると言えましょう。

そこで、佐賀県教育センターとして、今年度は、「教育の情報化」リーダー研修(5日間)を新たに設けました。この研修は、平成25年度までに県立並び義務制の全ての学校より参加をいただく予定です。また、今年度は、研究調査事業の一環としてICTの利活用に関する研究もスタートさせます。研究名称は、「ICTを活用した不登校児童生徒の一人一人の学びや認知の特性に応じた生活・学習支援」、「ICT利活用教育の推進及びサポート体制づくり」の二つです。

教育センターとしても、教育研究機関としての使命を果たすべく、教育政策課教育情報化推進室と連携しながら、佐賀県のICT利活用教育の普及と発展に寄与していく所存です。



● 学力向上に関わるプロジェクト研究に取り組んでいます。

教育センターでは、佐賀県の子どもたちの学力向上を図るため、現場の先生方と協力しながら、昨年に引き続き、今年度もプロジェクト研究に取り組んでいます。昨年度は、小学校国語科・中学校国語科・小学校算数科・中学校数学科の4つの研究委員会で、「すぐに役立つ授業プラン」「学習プリント」等を提案しました。今年度の研究でも、日々の授業に役立つ言語活動や算数・数学的活動を取り入れた授業プランと、内容を一層充実させた学習プリントを作成します。研究の成果は、随時発信していきます。日々の授業や家庭学習、振り返り学習等、用途に応じてダウンロードし、活用してください。

小国・中国・小算・中数からの発信物

新しい学習指導要領 に対応する内容

新学習指導要領を具体化した授業モデルや授業プランを提案します。

すぐに授業に生かせる 指導略案

単元の指導略案や、毎時間のワークシートを作成します。

いろいろな場面で 役立つ学習プリント

身に付けさせたい力に応じた学習プリントの充実を図ります。

教師や児童生徒に 対する手引き

教師や子ども向けの授業の手引きと学習プリントの解説も充実を図ります。

また、小・中学校理科の研究委員会でも、昨年度から2か年計画で、科学的思考力・表現力の育成を図ることができるような理科学習指導の在り方を探っています。今年度も、言語活動やものづくりの活動を充実させる実践事例とワークシートを提案します。特に、言語活動の充実を図るワークシートに力を入れています。

学習指導要領でも、理数教育の充実が謳われています。子どもたちに理科の楽しさを感じさせ、探究の楽しさを感得させる授業づくりについて本研究で提案していきます。

佐賀県教育センター

TEL:0952-62-5211(代)
FAX:0952-62-6404
kyouku@saga-ed.jp

学力向上支援
★学習プリント ★授業展開

プロジェクト研究の内容や成果は、ここから見るすることができます。

学習プリント等は、ここからダウンロードすることができます。

研究・調査

- 授業に役立つ実践研究
- 学習プリント集(国・算)
- 適応授業事例
- 学習状況調査
- 佐賀っ子学力向上
- 教育論文募集・入賞作
- 研究紀要検索

クリックすると、プロジェクト研究のページが表示されます。

クリックすると、学習状況調査のページが表示されます。

● 指導法改善のための校内研修サポートにも力を入れています。

4月18・19日に実施した佐賀県小・中学校学習状況調査(以下、学習状況調査)については、その調査結果を児童生徒用の学習状況シートや各学校のデータ等により返却しました。さらに、教育センターでは、各学校において学習状況調査の調査結果を分析し、活用することができる「県調査分析ツール」を毎年提供し、平成23年度用は6月14日より教職員ポータル上の諸調査集計・分析システムのページからダウンロードできるようにしています。平成23年度用の「県調査分析ツール」では、各教科や児童生徒意識調査に関わるグラフに改良を加え、学校現場でより活用しやすいようにしています。学力向上や学習習慣・生活習慣における課題を明らかにし、課題の改善や指導法の工夫・改善への取組にお役立てください。

また、学習状況調査の分析や指導法改善のための校内研修等、学校支援についても気軽にお問い合わせください。



所員による学校支援の様子

● 「分かる授業」のために

今年度の研修講座では、新学習指導要領に基づく「分かる授業」の推進を図るための、これからの授業づくりを提案します。

中でも、小学校国語科講座は、子どもたちの学力向上を目指して、プロジェクト研究の趣旨に沿った、より実践に生かしやすい内容へと改編しました。低学年・中学年・高学年向けに、それぞれ1日ずつに分けて実施します。



6月に実施した、小学校国語科Ⅰ講座(高学年)では、6年生を対象に授業を行い、「単元を貫く言語活動」を取り入れた授業づくりを提案しました。小学校での言語活動例として新しく加わった「新聞」を教材にして、子どもたちの「生きて働く言語能力」の育成を目指す授業の在り方を示しました。

小学校国語科Ⅱ(中学年)講座(7月29日)や、Ⅲ(低学年)講座(8月17日)でも、「分かる授業」の推進を図るための工夫を提案します。ご期待ください。

講座授業は、他の校種・教科でも実施します。詳しくは、ポスターやホームページをご覧ください。

● 家庭学習の充実のために

子どもの学習意欲を引き出す家庭学習の在り方及び教師や保護者への支援について、昨年度から研究をしています。校内研修会等への支援依頼も多く、今年度は出前講座を小・中に分けて開設し、6月に実施しました。

小学校

家庭学習の習慣化を図り、児童の学習意欲を高めるために、計画的な宿題の出し方や保護者との連携の在り方を提案しました。

演習では、学習に取り組む姿勢を形成する時期である児童に対して、それぞれの実態に即した家庭学習支援計画表を作成しました。



中学校

講義や模擬授業を行い、学級担任ができる家庭学習支援の手立てを提案しました。

その後の協議では、子どもの学習意欲や自学力を引き出す支援の在り方、保護者との連携の在り方、日常的に取り組める家庭学習支援の在り方について、

現状と課題を探り、実態に応じた手立てを考えました。



問い合わせ先

研修課 短期研修担当 TEL:0952-62-5212(直通) メール:tanken@saga-ed.jp

所員による サポート制度

毎日の教育実践や校内研修等において、「教科の研究資料が欲しい」「すぐに使える指導案や資料が欲しい」「研究の進め方について詳しく知りたい」「不登校や気になる子への支援の在り方が知りたい」などの要望はありませんか？そんなときには『所員による研修援助』をご活用ください。

学校の要望に応じ、各学校やセンター内で、担当の所員が実践発表や資料提供を行ったり、研究へのアドバイスを行ったりします。

申し込み方法(校内研修の場合)……………

- ① 教育センターの担当所員に直接連絡をします。
- ② 所属長が、教育センターの副所長に電話連絡をします。
- ③ 教育センター所長宛てに、依頼文書を郵送します。

詳しくは、お問い合わせください。

カリキュラム 支援コーナー

昨年度より、図書資料室内に「カリキュラム支援コーナー」を設置しています。スーパーティーチャーの授業DVD、プロジェクト研究の研究結果、学習指導案等をそろえています。これらの資料は、図書資料室内で自由に閲覧することができます。

今年度も、学習指導案に加えて、Web上に公開されているコンテンツや、教材作成のヒントとなる資料をそろえ、明日の授業に生かせる場となるよう、今後更に充実させていく予定です。



問い合わせ先

情報課 教育課程支援担当 TEL:0952-62-5238(直通) メール:shien@saga-ed.jp